

津波避難行動と防災意識に関する アンケート調査結果について

令和 7 年 7 月 3 0 日に発生したカムチャツカ半島付近の地震では、県内沿岸市区町に津波警報が発表され、多くの住民が実際に避難行動を行ったことから、津波防災意識や避難時の課題等を客観的に分析し、今後の防災施策の参考とすることを目的に、宮城県では下記のとおりアンケート調査を実施しました。

このたび、その調査結果を取りまとめましたのでお知らせします。

記

1. 期 間 : 令和 7 年 8 月 2 9 日 (金) ~ 9 月 3 0 日 (火)
2. 対 象 : 沿岸 1 5 市町の住民のうち、ポケットサインを導入し、アンケートアプリに同意している方 (仙台市は宮城野区、若林区のみ)
3. 調査方法 : アンケートアプリ (デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」内のミニアプリ)
4. 回答件数 : 4, 1 8 3 件
5. 主な調査内容 (全 1 8 問)
 - ・ 警報発表時の状況と初期行動・情報収集
 - ・ 避難行動の実態と所要時間・課題
 - ・ 過去の経験と事前準備の状況
6. 結果概要
 - ・ 津波警報を聞いたとき、実際に津波が来ると思った人は 7 8 %
 - ・ 津波警報や避難指示を知ってから、3 0 分以内に逃げた人は 7 5 %
 - ・ 津波ハザードマップを見たことがある人は 9 6 %

調査結果は下記ページに掲載のとおりです。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/bousai/enquete_r7tsunami.html